

# 平成29年度 ワカメ養殖情報第6号 (平成30年3月15日)

- 3月12～14日の定線海洋観測結果によると、5℃以下の水温帯は本県沖10～40海里付近を南下しています。また、県南部の沿岸域は黒潮系暖水の波及により水温は高めに推移しています(図1)。
- 3月15日の定地水温は、野田湾で6.3℃(過去平均差+0.1℃)、船越湾で6.0℃(過去平均差+0.4℃)、広田湾で9.0℃(過去平均差+2.9℃)でした(図2)。
- 3月13日の県南部湾内定点における栄養塩は、例年並みの値となっています。
- 3月13日の県南地区における葉長の測定結果は157cmでした(図3)。
- 栄養塩や水温の動き、病虫害の発生に注意し養成管理と収穫を進めてください。

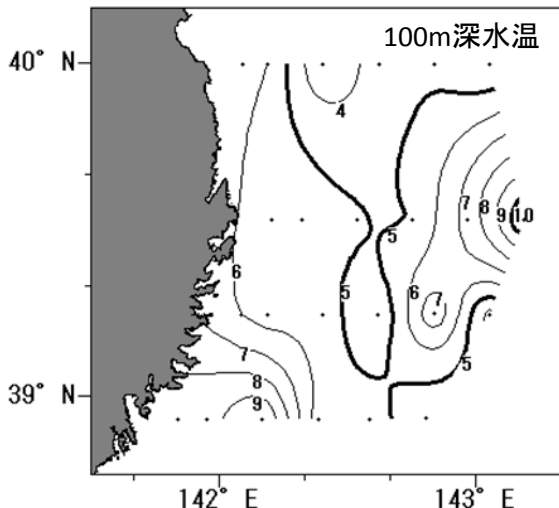
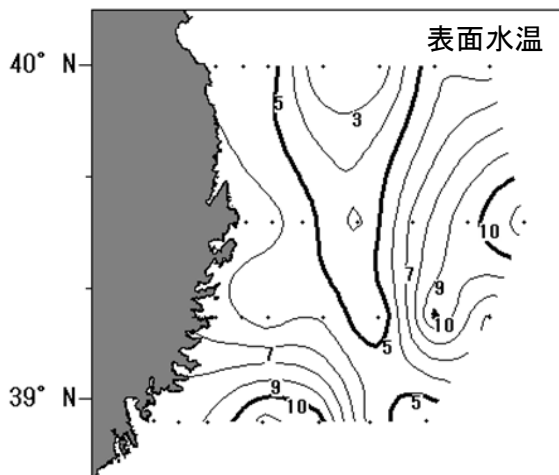


図1 岩手丸による定線海洋観測の結果(3/12～14)

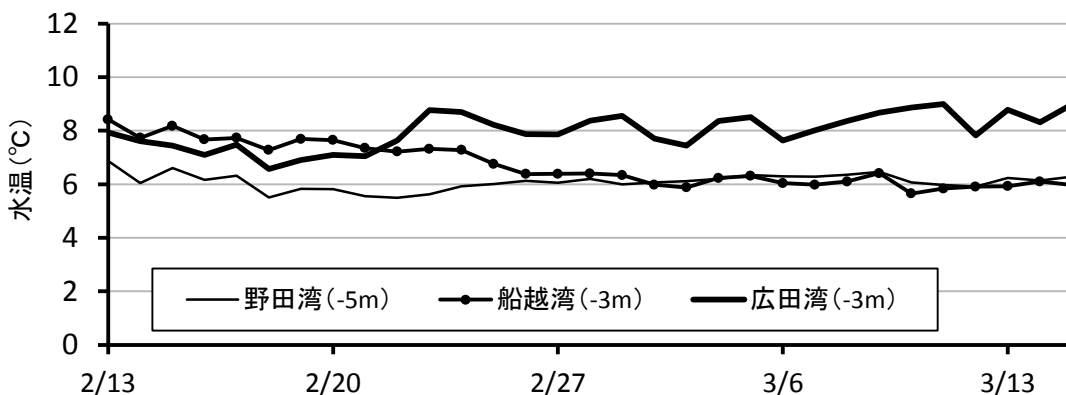


図2 野田湾、船越湾、広田湾における水温(午前10時)の推移(直近1ヶ月)

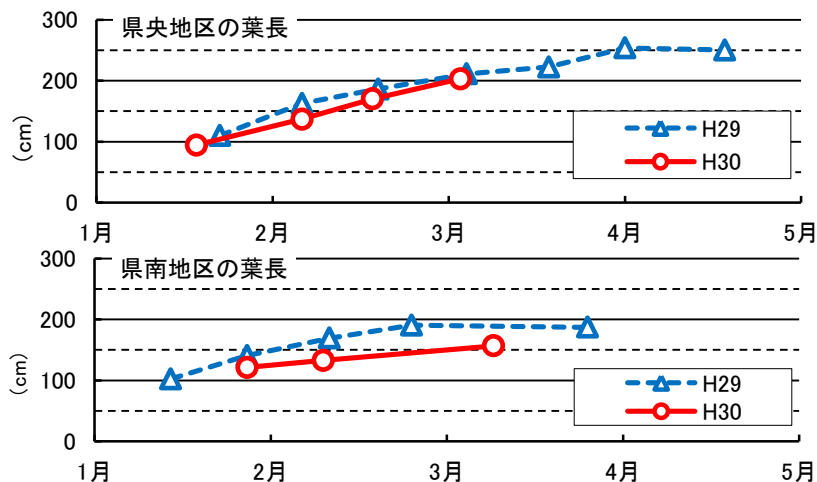


図3 本県養殖施設におけるワカメ葉長の推移

※湾内自動水温観測装置(定地)水温観測システムの設置、水温及び栄養塩供給予測のためのソフトウェア開発、沖合栄養塩の分析は、農林水産省 農林水産技術会議による「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」による成果です。なお、定地水温の値は、午前10時の水温を採用しています。

※当情報は水産技術センターホームページでもご覧いただけます。 URL: <http://www2.suigi.pref.iwate.jp/>